

ボランティア薬剤師がどんどん集まっています さらに多くの薬剤師の参加をお願いします

このホームページにも載せてありますように、各被災地の悲惨な様子できるだけ早く皆様にお伝えするようにはしておりますが、薬剤師不足と薬不足がひどくなっております。多くの病院では医療従事者は不眠不休で活躍しており、疲労も極限に達しております。

日病薬は独自に3月17日夜に被災地の病院薬剤部や医療チームの一員として働くボランティア薬剤師の募集を始めたところ、19日午前中までにすでに20人の応募がありました。これらの応募者は、宮城県の東北大学病院薬剤部長からの派遣先指示、福島県いわき市のいわき市立総合磐城共立病院薬剤部、岩手県の岩手医科大学附属病院の医療支援チームへの参加などの活動場所も決まりつつあり、22日(月)から現地で活動を開始する人もあるなど、着々と現地へ入る準備を開始しています。これらの素早い決意と行動に心から敬意を表したいと思います。

災害が発生してから1週間が経過して、これから様々な体調不良の患者さんが増え、薬の専門家である薬剤師の出番は多くなると思います。この非常事態は長期に渡るものと予想されます。

是非とも多くの薬剤師が、積極的に日病薬のボランティアに登録し、薬の専門家として、被災地で病んでいる人たちの救援に貢献するよう心から要請いたします。

平成23年3月19日15時
日本病院薬剤師会
会長 堀内 龍也